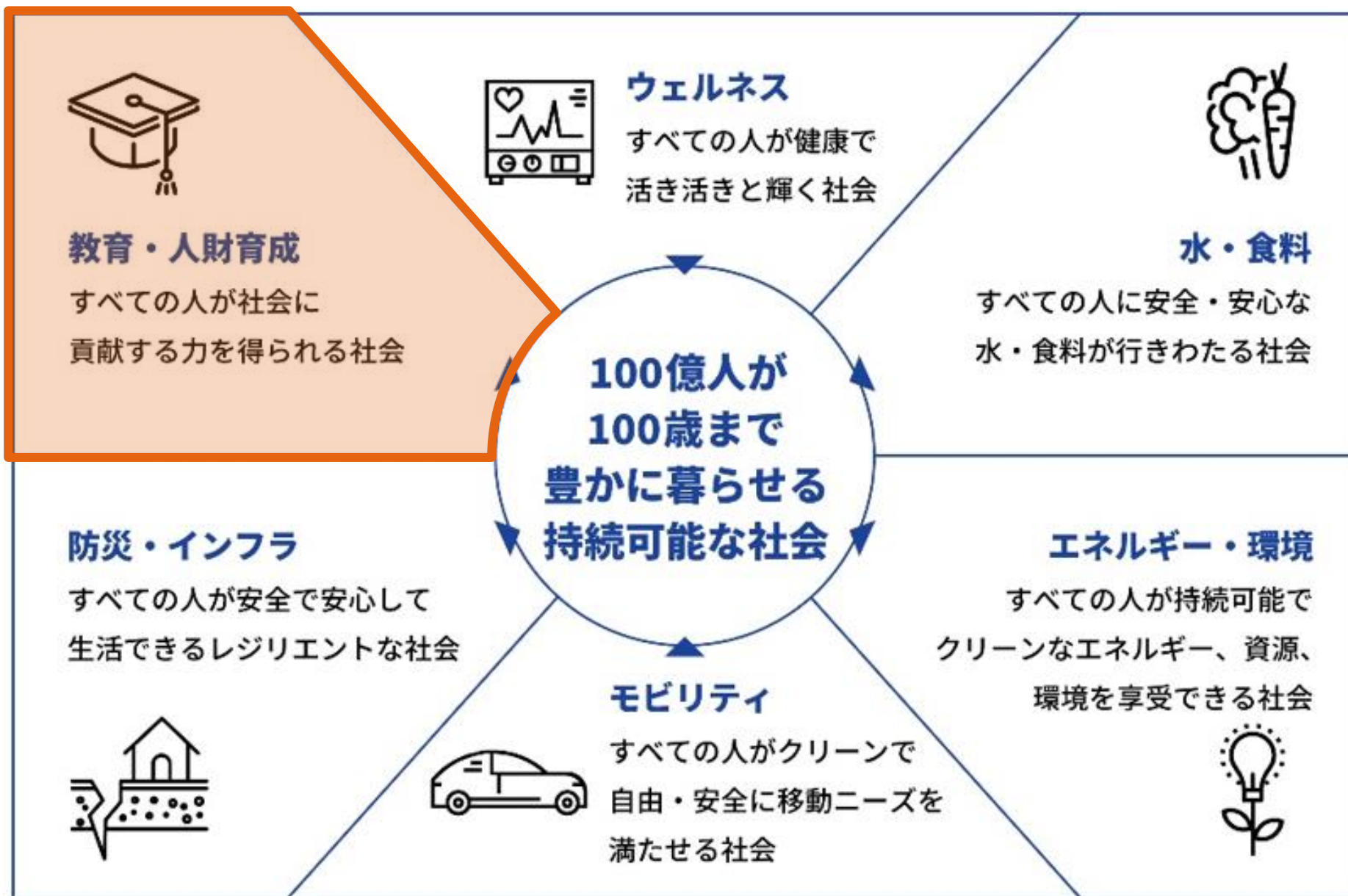
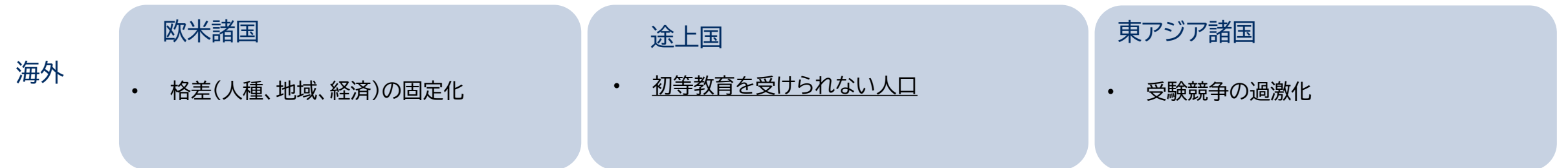
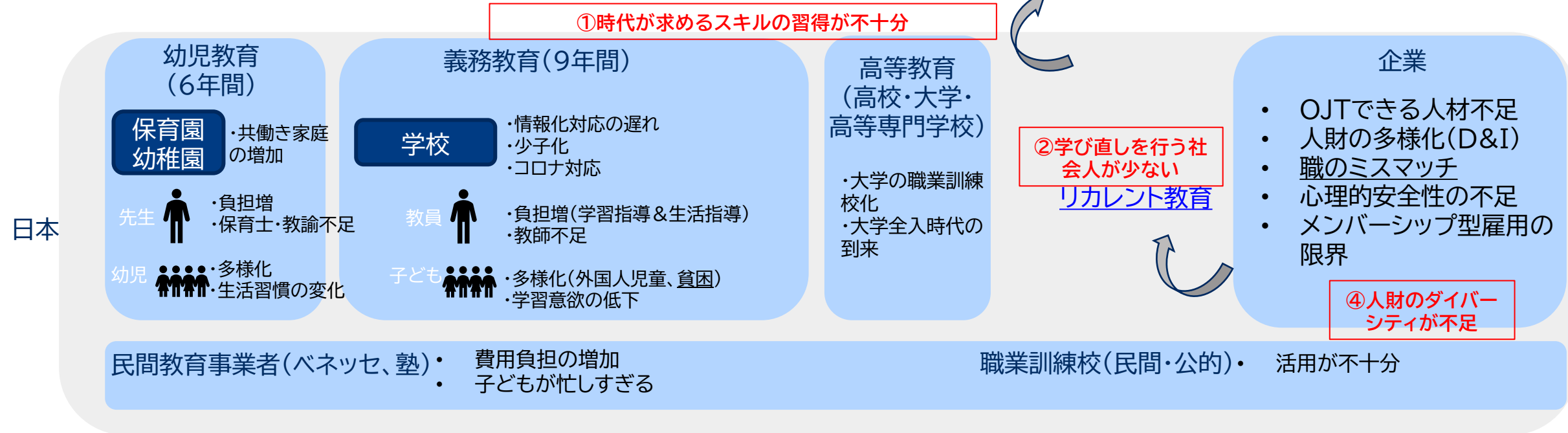


教育・人材育成分野



教育・人財育成分野の社会問題図：
すべての人が社会に貢献する力を得られる社会へ



③フィルターバブル = 情報の氾濫と偏り

社会の変化

- ①ポスト工業社会で働くための能力を身に付ける必要がある (→従来型の企業・社会に貢献する働き方からの変化)
- ②Society5.0のサイバー空間で「良き市民」として生きていく能力を身に付ける必要がある (cf.フィルターバブル)
- ③増えた自由時間で何をやるか、意思を持つ必要がある

- ・新しい資本主義
- ・科学技術イノベーション、社会イノベーション
- ・創造的人材のニーズの高まり
- ・明るく楽しく、自発的・能動的に働ける環境整備
- ・産官学/地域をまたいだ人材交流

横＝地域的な広がり (例: グローバル)
縦＝社会内部の階層 (例: 貧困)
時間軸＝世代間倫理や世代間の違い (Z世代)

教育・人材育成分野の社会問題

社会問題



- ①時代が求めるスキルの習得が不十分
- ②学び直しを行う社会人が少ない
- ③フィルターバブル＝情報の氾濫と偏り
- ④人財のダイバーシティが不足

問題① 時代が求めるスキルの習得が不十分

問題

読解力低下／受けられる教育の機会に格差

- 世界：2030年、基本的な中等教育を受けることのできない学齢期の子どもが10億人
初等教育以上の教育を受けていない大人が15億人
- 国内：学習到達度調査（PISA）：読解力の平均得点が低下

課題

必要な学習機会をすべての子どもに提供

- ポイント①時代が求める教育の明確化
- ポイント②子どもの特性と背景に適した教育

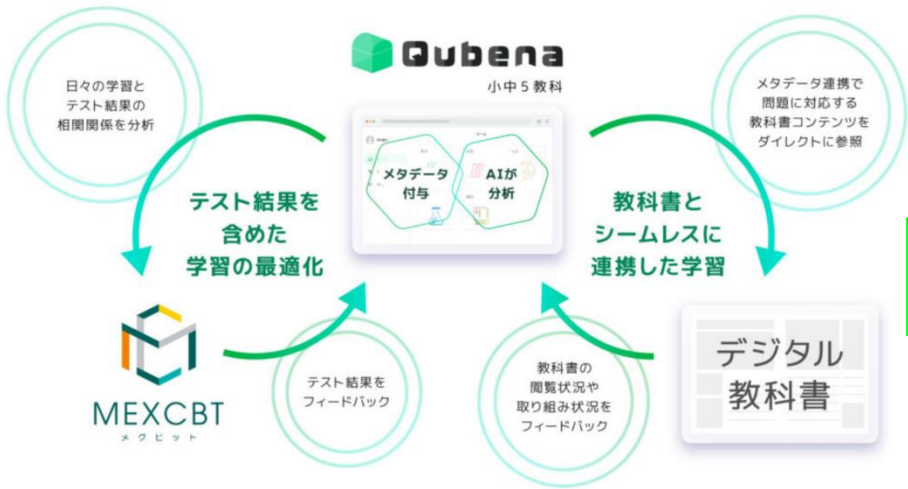
解決への糸口

技術

- ICTを活用した学習支援
- 地域社会の身近な社会課題の解決方法を考えるPBL(Problem-based Learning;課題解決型学習)を取り入れる

問題① 時代が求めるスキルの習得が不十分：AI活用によって社会課題を解決した事例

AI型教材技術の革新
COMPASS社：算数・数学のAI型タブレット
「Qubena」を使うことで、個々の子どもの得意・不得意を分析し、解くべき問題へと誘導することが可能



Qubena
<https://qubena.com/>
 (2022/04/25)

- 特長01
AIが一人ひとりに合わせて最適な問題を出題
- 特長02
小学校・中学校の主要5教科に対応
- 特長03
5教科の学習に必要な様々な操作に対応

- 特長04
学習データできめ細やかな学習指導を
- 特長05
あらゆる学習シーンで先生を強力にサポート
- 特長06
端末へのインストールが不要で、すぐに使える

学習効果 | 01 従来の半分の時間で授業が進む！
 提出された問題を扱い、さらに深い学びや、探究学習を実施するなど授業の可能性が広がります。

授業が標準の $\frac{1}{2}$ の時間で終わる

単元 63 問数分
 教科書の定める学習指導計画に基づく時間 63 分
 Qubenaを導入した授業の時間 31 分(30分) + 32 分(30分)

※公立中学校(中2・2-3学期)における実績

学習効果 | 02 16日間の学習で単元テストの点数がUP！
 児童・生徒一人ひとりに合わせて問題が最適化されるため、短期間でそれぞれの習手を克服、成績を伸ばすことができます。

16日間で平均 **40%** 点数がUP!

単元テストの点数変化

クラス	テスト前	テスト後
クラスA	28点	36点
クラスB	20点	38点
クラスC	40点	47点
クラスD	69点	92点

※私立女子中学校における実績

学習効果 | 03 児童・生徒が数学に意欲的に取り組むように！
 子どもたちと親和性の高いタブレット教材で楽しく勉強に取り組み、自発的な学習を促します。

生徒満足度 **平均 13.6** ポイントUP!

Qubena 利用事前事後の生徒アンケート

項目	事前	事後
数学の学習は楽しい	15.7% (事前)	84.8% (事後)
数学の学習に積極的に取り組んでいる	12.3% (事前)	89.9% (事後)
数学の学習が「得意」である	21.3% (事前)	48.4% (事後)

※公立中学校における実績

問題② 学び直しを行う社会人が少ない

問題

リカレント教育の重要性

- 2022年度、人材需給バランスが『余剰』に
- 職業別には、専門技術職は170万人不足、事務職は120万人過剰、生産職は90万人過剰といったミスマッチが発生する可能性
- 20～60代の社会人、教育プログラムの受講者割合が2割を下回る

課題

時代に適合したリカレント教育の促進

- ポイント①キャリア・オーナーシップの醸成と支援
- ポイント②人材育成に対する積極的な参画・投資
- ポイント③変化するニーズへの機動的対応

解決への糸口

技術

- 働き手・企業双方に有用なサービスの登場
- 研修・教育の効果を科学的に測定する取り組み

規制：「リカレント教育等人材育成の抜本強化」

問題② 学び直しを行う社会人が少ない：VR技術によって社会課題を解決した事例

VR技術の革新

技術習得のための訓練が必要となる業種において、熟練者の動作等をデータ化し、学習者との差異を分析することで、技術の効果的・効率的な習得を可能に

→会津大学では幼稚園教諭や保育士の熟練者の目線や考え方をデータ化し、VRコンテンツにすることによって、初任者の技術習得を促進



VRで保育の質向上へ 福島・会津大の中沢上級准教授が教材開発着手
<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2022010393294>
(2022/05/25)

問題③ フィルターバブル＝情報の氾濫と偏り

問題

情報の氾濫と偏り

- 世界：インターネット利用者のうち45.7億人が「フィルターバブル」の中にいる
- 日本：病的なインターネット依存が疑われる中高生数、全国で93万人

課題

自由でオープンな言論空間の確保

- ポイント①スコアリングと自動化
- ポイント②インターネット空間の特性理解

解決への糸口

技術

- 学校教育でインターネット教育
- オフラインの活用、対面する機会の提供

規制：SNS依存を正式な精神疾患として位置付けるべきとの議論

問題③ フィルターバブル=情報の氾濫と偏り：ITによって社会課題を解決した事例

エースチャイルド株式会社：
 子どものSNS見守りサービスや、自治体・学校・NPO法人を対象とした情報モラル・リテラシーセミナーを提供



Filii (フィリー)
 お子様のSNSを見守り、
 トラブルを未然に防ぐ
 こどもセキュリティアプリ



つながる相談

つながる相談

あらゆる相談をSNSで。

SNS相談に特化した

マルチSNS相談プラットフォーム



つながる連絡

つながる連絡

学校連絡業務に特化。

遅刻欠席連絡やプリント配布もできる

SNS学校連絡システム

A's Child Inc. (as-child.com)
<https://www.as-child.com/>
 (2022/05/25)

問題④ 人財のダイバーシティが不足

問題

「属性」と「思考パターン」両面の多様性

- 所属メンバーの多様性を高めると組織の生産性も高まる
- 日本：ジェンダー・ギャップ指数156か国中120位、障害者雇用不十分

※「経済」「政治」「教育」「健康」4つの分野のデータから各国における男女格差を数値化

課題

属性に関わらず個人を活かす環境整備

- ポイント①教育機会・環境と適切な評価
- ポイント②働きやすい職場環境と雇用機会の提供

解決への糸口

技術

- 多様な人財雇用の促進
- ダイバーシティ&インクルージョン教育

規制：2021年3月1日障害者の法定雇用率が引き上げ(日本)

問題④ 人財のダイバーシティが不足：多様な人財雇用によって社会課題を解決した事例

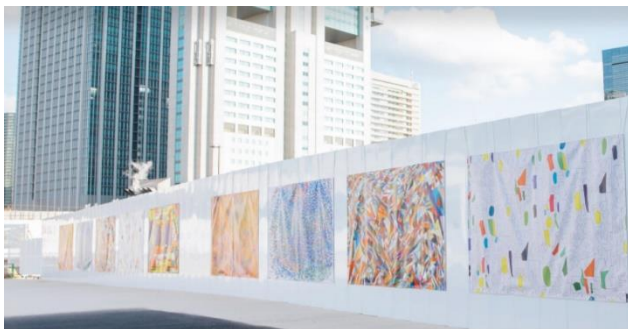
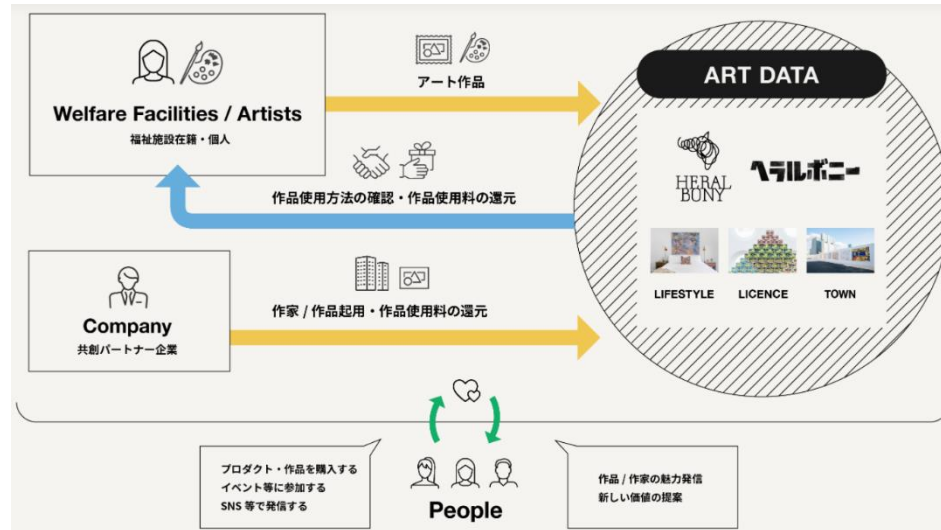


多様な人財雇用の促進

株式会社ヘラルボニーでは、知的障害のある作家が描くアート作品をウェブサイト上で公募。高解像度デジタルスキャンを行い、高品質なファッションプロダクトやインテリアグッズとして販売



異彩を、放て。



株式会社ヘラルボニー
<https://www.heralbonny.jp/>(2022/05/25)